

第26回 クロモジェニック研究会

主催：クロモジェニック研究会

クロモジェニック材料研究の最前線

【日時】 2023年11月1日（水）13:00-16:35（受付開始12:30）

【場所】 産業技術総合研究所臨海副都心センター別館 11階会議室

【プログラム】

13:00-13:05 開催挨拶

クロモジェニック研究会主査 小林 範久

13:05-13:55 「導電性セルロースナノファイバーを活用した窓用遮熱材料の創製およびその調光自律制御」

熊本県産業技術センター 材料・地域資源室 堀川 真希、永岡 昭二

概要：「感温性ポリマーであるポリ(N-イソプロピルアクリルアミド)に着目し、温度変化により光透過を制御できる調光ガラスを検討した。独自に開発した導電性セルロースナノファイバーを熱線吸収材として加え、熱伝搬性の向上により、温度スイッチングを迅速化することができた。本発表では、遮熱フィルムについても報告する。」

13:55-14:45 「多孔質モスアイ構造VO₂薄膜を利用した赤外線スマートウィンドウ」

大阪工業大学工学部 ナノ材料マイクロデバイス研究センター 和田 英男

概要：「有機金属分解法（MOD法）を用いて作製した、ナノスケール多孔質モスアイ構造を有するVO₂薄膜を応用した赤外線スマートウィンドウを紹介する。また、高原子価カチオン元素を用いた置換ドーピングによる相転移温度の低温化を図り、環境温度に適應できるスマートウィンドウの現状と将来展望について述べる。」

***** 休憩（10分） *****

14:55-15:45 「酸化還元活性イオン液体のエレクトロクロミズム」

長崎大学総合生産科学域（工学系） 田原 弘宣

概要「酸化還元活性イオン液体は、溶媒や支持電解質無しで電極反応を起こすことが出来る機能性イオン液体である。エレクトロクロミズムを示す酸化還元種を構成要素とすることで、10マイクロメートル程度の薄層デバイスでも大きな透過率変化をもたらす。講演では、我々が開発した酸化還元活性イオン液体を用いたエレクトロクロミックデバイスにつ

いて紹介する。」

15:45-16:35 「スマートウィンドウの省エネルギー効果」

産業技術総合研究所 吉村 和記

概要：大きな省エネルギー効果が期待される窓ガラスとしてスマートウィンドウが注目を集めている。ただ、その省エネルギー効果は複雑で、伝熱工学と建築工学の知識が無いと正しく理解することができない。本講演では、大きな省エネルギー効果を持つためには、スマートウィンドウがどのような性能を持つことが必要とされるのかについて解説する。

【参加費】 5,000円（当日受付にて現金でお支払い下さい）

【参加申込方法】

2023年10月27日(金) 17:00までに下記 URL の申込ページよりお申し込み下さい。
<https://forms.office.com/r/B9ftZ2AeTp>

【注意事項】

- ◆ 建物の入館に際して受付にて事前申込名簿との照合を行いますので、参加される方は事前登録が必須となっております。事前申込の無い方の当日参加はできませんので、ご注意ください。登録情報の変更やキャンセルについては、申込期日までに事務局までご連絡下さい。
- ◆ 講演資料はPDFで配布致します。配布方法については参加登録された方に後日ご連絡致します。

【連絡先（事務局）】 〒305-8565 茨城県つくば市東 1-1-1 つくば中央 第5事業所

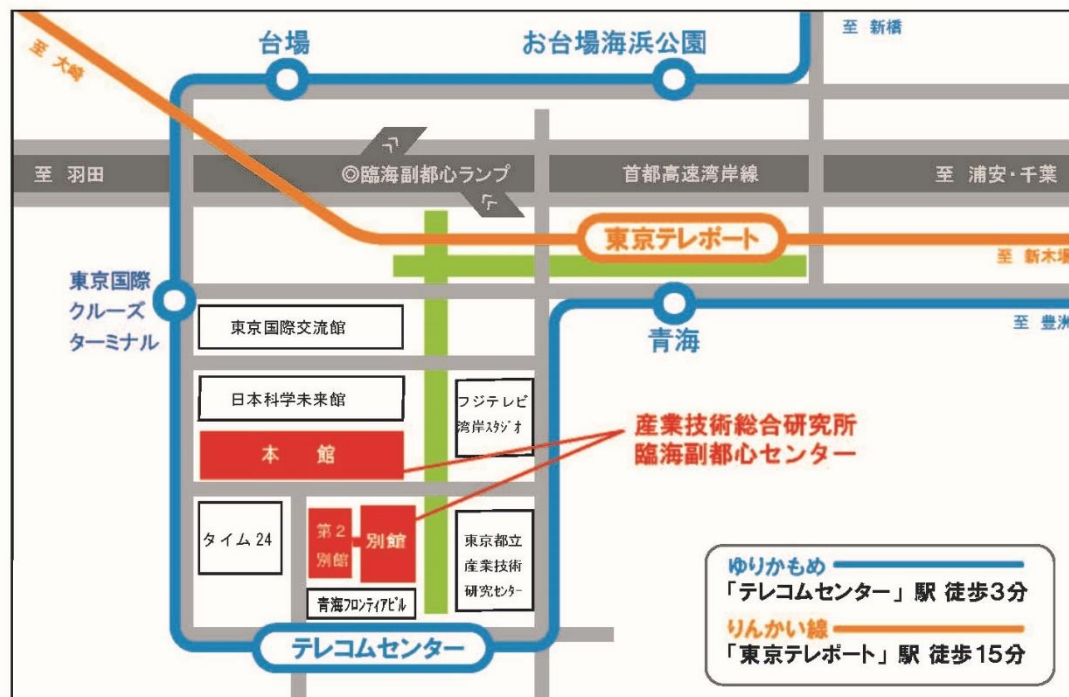
産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター

渡邊 雄一 Tel 029-861-2348

e-mail: yuichi.watanabe@aist.go.jp

【会場アクセス】

*会場はテレコムセンター駅側の「別館」になります。



交通機関の詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/index.html>